

平成 27 年度病虫害発生予察情報 注意報 第 6 号

平成 27 年 8 月 31 日
岩手県病虫害防除所

きゅうりのべと病が全県的に多発しています。ただちに有効な防除対策を実施しましょう。

- 1 対象作物、病虫害：きゅうり、べと病
- 2 対象地域：県下全域
- 3 発生時期：－
- 4 発生量：多
- 5 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率は平年より高かった(図1)。
- (2) 県下全域に発生しており、増加傾向である(普及センター病虫害発生状況より)。
- (3) 成り疲れ等により草勢が低下している圃場が多く、また、日照不足が続くとの予報から、今後の秋雨等により発生量の増加が予想される。

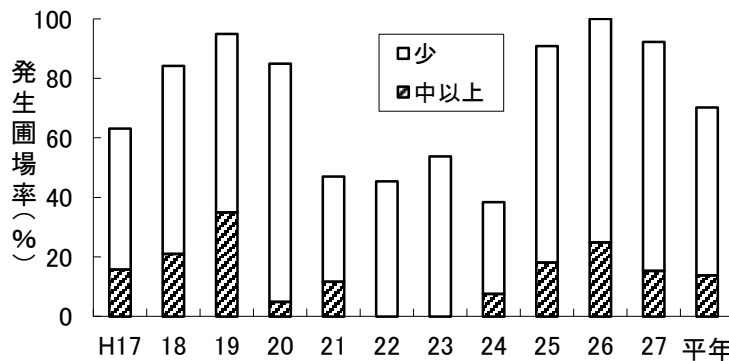


図1 ベと病の年次別発生状況の推移 (8月後半)

6 防除対策

- (1) アーチの肩にある発病葉が下位葉への伝染源となるので優先的に摘葉する。
- (2) 草勢の低下は発病を助長するので、適切な肥培管理を行い、草勢の維持に努める。
- (3) 薬剤は十分量を株の両側から散布する。降雨が続くと発生が増加するので、降雨前後の防除に努める。
- (4) 発病が見られる場合は、フェスティバルC水和剤、ブリザード水和剤などの効果の高い薬剤で防除を行う。

【利用上の注意】

- 本資料に掲載した農薬は、平成 27 年 8 月 26 日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。
- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
 - ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳 を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病虫害防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <http://i-agri.net/>